

小山町殖産興業遺産(国登録
有形文化財)活用プロジェクトが、
企業版ふるさと納税の
対象事業に認定されました。



企業版ふるさと納税



小山町にある殖産興業遺産の復活に、企業の皆様
からのご寄附、ご支援をお願いします。<(_ _)>



～ プロジェクトの概要 ～

小山町は、富士紡績(株)が明治 29 年に創業の地としたことから経済的発展が始まりました。この殖産興業時の遺産である「豊門会館」・「西洋館」及びそれらがある「豊門公園」、並びに「森村橋」は富士紡績(株)から町へ譲渡され、国の登録有形文化財の指定を受けました。これら施設を修繕・再整備し、利活用を図ることで、シビックプライドの醸成を図ると共に、雇用機会の創出、交流人口の拡大を目指しています。

森村橋の復元修景事業

○橋の概要

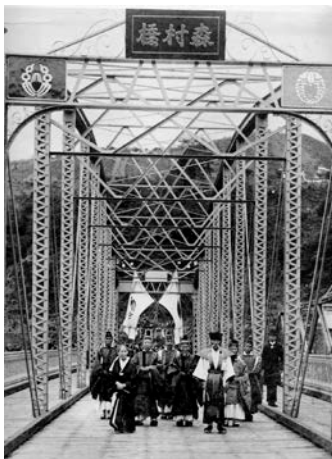
富士紡績(株)が、かつての東海道線小山駅(現御殿場線駿河小山駅)から、鮎沢川対岸にある工場に通じるピントラス橋を明治 39 年(1906 年)に建設した。2004 年に道路橋としての役割を終えた後の老朽かは著しく、手を施さないと文化財が消滅する段階に入っている。橋長約 40m、幅員 4.9m

橋名は富士紡績創業に大きく貢献した森村市左衛門に由来する。

製作:東京石川島造船所 設計:秋元繁松

○復元修景の概要

完成当時(明治 39 年)の姿に復元し、ライトアップにより、橋の美しさを際立たせるとともに、橋を眺める場として、橋詰め広場を整備します。



豊門公園の修景事業

○公園の概要

富士紡績(株)が、地域住民及び従業員の教育・保健・修養の場を提供することを目的に、大正 15 年(1924 年)から豊門会館・青年学校・庭園を整備しました。

面積:約 20,000 m²

○修景の方針

和田豊治翁をはじめとする、殖産興業により日本の近代化をリードした財界人ゆかりの場所であることを、今一度明らかにするよう修景する。

「歴史を旅する」をテーマに

・豊門会館を中心とする和のエリア、西洋館を正面に据えた洋のエリアの2つの世界観をつくる。

・旅(回遊)できる1本の道をつくる。

・旅(世界観)を盛り上げる居場所をつくる。



豊門会館及び西洋館大規模修繕事業

○豊門会館の概要

大正 13 年に死去した和田豊治社長の遺志により、向島にあった邸宅が遺族により寄贈され、現在の豊門公園内に移築された。

和館と洋館からなる木造 2 階建て 延床面積:527.07 m² 明治 42、3 年建築

○西洋館の概要

富士紡績(株)が私設した豊門青年学校の建物。

木造 2 階建て 延床面積:395.76 m² 昭和 5 年頃建築 正面に搭屋を配す瀟洒な洋館。

○大規模修繕の方針

耐震補強をすると共に、老朽化した部位を修繕する。

豊門会館は、公開、貸室を前提に改修する。

西洋館は、外観をそのままに、1 階をレストラン・カフェに、2 階を富士紡績(株)小山工場創業期からの「富士紡績と小山町の歴史」ギャラリーに改修する。



事業のスケジュール

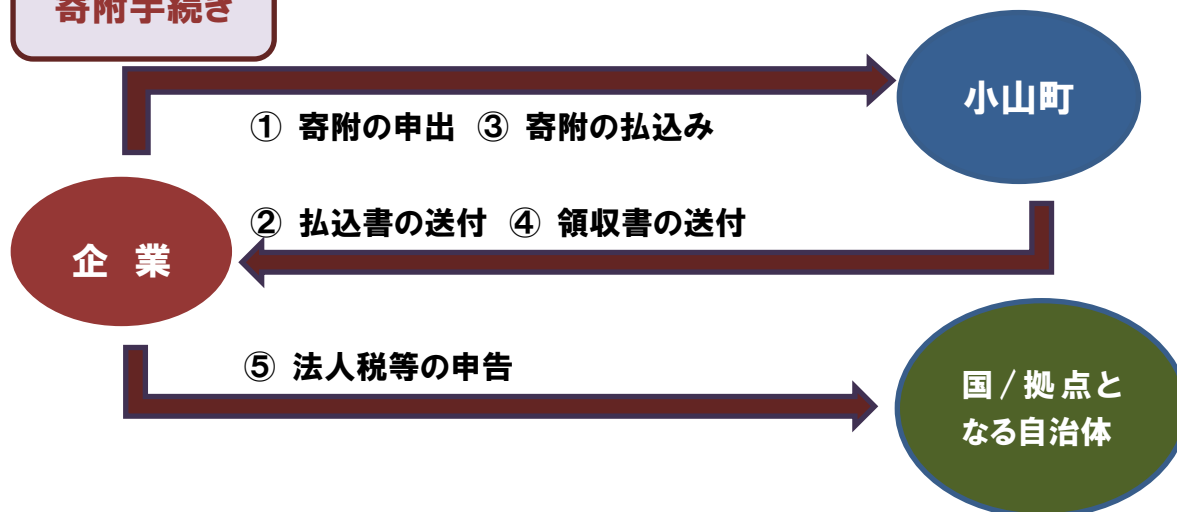
	森村橋	豊門公園	豊門会館及び西洋館
H29 年度	施 工	実施設計・施工	改修設計
H30 年度	施 工	開 園	施 工
H31 年度	開 橋		施 工
H32 年度			公 開

事業費(予定)

(単位:千円)

	森村橋	豊門公園	豊門会館及び西洋館	合 計
H29 年度	50,000	160,490	40,950	251,440
H30 年度	153,000	2,750	200,210	355,960
H31 年度	2,000	2,750	370,210	374,960
合 計	205,000	165,990	611,370	982,360

寄附手続き



【問い合わせ先】

小山町企画総務部 町長戦略課

〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57-2

TEL:0550-76-6133 FAX:0550-76-4633

Mail:senryaku@fuji-oyama.jp

